

委員会
レポート

福祉産業建設委員会

長嶺北部地区 福祉医療ゾーン構想

8月10日
協議会開催



福祉医療ゾーン予定地（長嶺）

第8期幸田町高齢者福祉計画および介護保険事業計画の重点的な取り組みとして、介護老人保健施設の設置を進めている。併せて、「愛厚藤川の里」（障がい者支援施設）が老朽化により移転先を探しており、両施設誘致に向け福祉ゾーンとして計画を推進する。

長嶺北部地区開発基本設計及び測量業務を、株式会社オオバ名古屋支店で実施。工期は令和3年6月2日から令和4年3月31日まで。

問 建設費はどの位になるのか。

答 3億5000万円を見込む。

問 造成した用地は、全て自治体の負担か。

答 県内の自治体では公で整備していないため、検討したい。

問 道路整備の方向性は。

答 交通量等調査し、開発が終わった後の増車数を予想し、道路構成を考えていきたい。

鷺田住民広場 整備工事の着工

旧鷺田住民広場は、令和2年度に土地賃貸借契約の期間満了となり、地権者に返還した。

新たな住民広場を設置するため、町がわしだ保育園に隣接する土地を取得し整備する。

（その他13項目を協議）

管内視察

小規模保育園など視察

8月4日
11日



熱心に視察する委員

8月4日、こども課所管の8施設を視察した。

- ・でんでんむしハウス、さくらんぼ幸田
- ・両施設は併設され、1才と2才の園児各19人が通っている。
- ・豊坂第2児童クラブ室、令和2年度増築され、2年生から6年生を対象に運営されている。

（他6施設視察）



拡幅が待たれる県道（上六栗）

8月11日、建設部所管の7施設を視察した。

・蒲郡碧南線道路改築（上六栗地内）

通学路であり、道幅が狭く大型車両の通行も多く、通学時の危険性もあり早急の改築が望まれる。

- ・幸田駅前土地区画整理事業施工

最終段階の第二ロータリー整備事業を残し、完成が待たれる。

（他5施設視察）

委員会 レポート

総務教育委員会

動き出した 空き家利活用事業

8月12日
協議会開催

荻地区の古民家再生事業に、1650万円の国交付金の支給が決まった。多文化共生拠点施設整備事業と共に、本格的に進めて行く。

問 荻の空き家利活用でものづくり研究センター移転の他、具体的な使い方が不明確。

答 地域住民の交流の場作りなど、意見交換しながら、使い方をはっきりさせて行く。

問 事業期間が10年以上とあるが、交付金を頂いて10年では短いのでは。

答 一応10年という事だが、20年、30年と継続して行きたい。

問 荻の古民家利活用と多文化共生事業の設計業務受託者の選定方法は。

答 荻の古民家利活用はプロポーザル提案。

多文化共生事業は入札で決まった。



多文化共生施設などに改修（野場）



改築中の古民家（荻）

前年比3割減の
ふるさと寄附金

問 寄附金が減っている中でも、高額返礼品に関するウエイトが高い。大丈夫か。

答 ふるさと寄附金を強化する体制を整え、町のアピールと、寄附金の増額に努める。

町営初のフットサル
場新設計画

問 フットサルをする団体はあるのか。管理はどこがするのか。

答 特に団体はない。人芝でサッカーの練習が出来るというイメージ。管理は町が行う。（その他7項目を協議）

表紙の説明

コロナ禍でも元気に学び、遊ぶ子どもたち
(福祉産業建設委員会視察より)

議会広報特別委員会

委員長 稲吉 照夫

副委員長 都築 幸夫

委員 水野 千代子 藤江 徹 廣野 房男
黒木 一 鈴木 久夫 田境 毅

幸田町議会だより No.182 2021.10.26発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会
発行責任者 ● 議長 足立 初雄
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970
Eメール gikai@town.kota.lg.jp
幸田町ホームページ http://www.town.kota.lg.jp/

議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階 【時間】 午前9時から

【12月定例会の予定】

11月29日 (月) 開会、議案の説明
12月 2日 (木) 一般質問
3日 (金) 一般質問
7日 (火) 議案の質疑
8日 (水) 議案の質疑
10日 (金) 福祉産業建設委員会
13日 (月) 総務教育委員会
15日 (水) 議会運営委員会
17日 (金) 討論、採決、閉会

●一般質問などの内容は、幸田町のホームページで随時公開しています。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)